

【CT・MRI 造影剤使用における同意書】

20230903

※下記の間診にお答えください

	問診内容	あり	なし	具体的に
1	今まで造影剤を用いた検査を受けたことがありますか？			
2	1でありの方はその時、副作用はありましたか？			
3	今までに喘息(ぜんそく)といわれたことがありますか？			
4	アレルギー体質、アレルギー性の病気はありますか？			
5	腎臓のはたらきが悪いといわれたことがありますか？			
6	必要な方のみ：現在、妊娠中または可能性がありますか？			

※問診の結果で造影剤を使用しない場合もありますのでご了承ください

~~~~~

私は「CT・MRI 造影剤使用検査における説明書」を読み、理解した上で造影検査を受けることに納得し、同意いたします。またその実施に関連した緊急の診療行為についても医師が必要かつ適切と判断した場合にはその診療行為を受けることに同意します。

同意日 年 月 日

(署名) 印

代理人(続柄 ) (署名) 印

## ※造影検査を拒否される場合は以下の欄にご署名ください

私は「CT・MRI 造影剤使用検査における説明書」を読みましたが、造影検査を受けることを拒否します。そのことによる結果について担当医・クリニックの責任を追及いたしません。

署名日 年 月 日

(署名) 印

代理人(続柄 ) (署名) 印



医療法人社団 もかほ会

武蔵村山 さいとクリニック

# 【CT・MRI 造影剤使用検査における説明書】

20230906

CT および MRI 検査において、より良い画像診断を行うために、造影剤という薬を用いることがあります。

造影剤使用検査についての説明を行い、ご理解していただいた上で、安心して検査を受けていただきたいと思いますと考えております。

下記の内容をよく読み、ご理解の上、同意書へご署名をお願いいたします。

## I 造影検査の利点（造影検査とは）

造影剤は腕の静脈から注射をします。そこから各臓器へ分布され、臓器や病変の状態が分かりやすくなり、診断上重要な情報を得ることができます。造影剤を使用しなくても検査は行えますが、十分な診断ができない場合があります。

## II 造影剤の副作用について

造影剤は比較的安全な薬剤ですが、まれに次のような副作用が起こることがあります。（時間が経ってから現れる遅延型の副作用もあります）

- ・吐き気・動悸・嘔吐・頭痛・かゆみ・発疹など（CT 造影剤：約 3%以下）
  - ・呼吸困難・意識障害・血行低下・ショック・腎機能障害（CT 造影剤：0.1%）
  - ・死亡 約 10～20 万人につき 1 人の頻度（0.0005～0.001%）
- \* MRI 造影剤の副作用は、上記 CT 造影剤の 1/10 位と少なくなります。  
\* 授乳中の方は、造影剤使用後 48 時間授乳を避けてください。

## III 造影剤注入時には

- ・体が温かくなることがありますが、血管への直接刺激による正常な反応です。
- ・造影剤が静脈外皮下への漏れることがあります。また、抜針後に皮下出血が発生する場合があります。

## IV 検査の必要性

造影剤にはこうした副作用が起こる可能性がありますが、医師は病気を診断する上で、造影剤使用検査が非常に重要であると考えています。

## V 副作用発生時の対応

造影剤注入時は看護師・技師がすぐ側にいます。何かあれば即座に対応いたします。予期せぬ事態に対しては担当医師が最善の対処をいたします。帰宅後に、体調に異変があった場合には、クリニックへご連絡ください。



医療法人社団 もかほ会

武蔵村山 **さいとうクリニック**